



press release

# 朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

## 谷川俊太郎さんをしのぶ合唱プロジェクト始動 「どこからか言葉が」書き下ろし 6 曲を 2026 年 3 月初演へ

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:角田克)と一般社団法人全日本合唱連盟(理事長:長谷川冴子)は、多くの作品が合唱曲になっている詩人谷川俊太郎さんが昨年 11 月に亡くなったことを受け、合唱プロジェクト「どこからか言葉が」を始めます。人気作曲家 6 人が、谷川さんの朝日新聞掲載作から一つずつを選び、曲を書き下ろします。すでに親しまれている谷川さんの合唱曲と合わせて、2026 年 3 月 22 日、東京・文京シビックホールでコンサートを開きます。

### 谷川俊太郎さん (撮影・深堀瑞穂)



武満徹作曲「死んだ男の残したものは」や三善晃作曲「生きる」など、谷川作品をもとにした合唱曲は数多くあり、全日本合唱連盟と朝日新聞社が主催する全日本合唱コンクールなどでもしばしば演奏されています。

谷川さんは 2016 年から亡くなるまで、朝日新聞の連載「どこからか言葉が」で新たな詩を発表し続けました。今回、それ以前の朝日新聞掲載作も含めた作品の中から、合唱連盟と朝日新聞社の委嘱を受けた作曲家 6 人が、自ら詩を選び、曲を付けます。

作曲するのは、混声合唱曲が新実徳英さんと信長貴富さん、男声が木下牧子さん、女声が瑞慶覧尚子さんと面川倫一さん、児童合唱曲が松本望さん。9 月末までに作曲し、来年 3 月のコンサートで初演されます。

コンサートでは、すでに親しまれてきた谷川さんゆかりの合唱曲も演奏。長男・賢作さんらによる詩の朗読なども交えて、谷川さんの人と業績を振り返る予定です。

コンサートの詳細やチケット情報などは随時、朝日新聞でお知らせします。

&gt;

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報部

Email koho2025@asahi.com